

平常展

仏教の思想と文化

インドから日本へ

第1期

2016

6/25(土) ~ 8/21(日)



龍谷大学

龍谷ミュージアム

RYUKOKU MUSEUM

開館時間：10時～17時 ※入館は16時30分まで 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

仏立像 木造不動明王坐像 / 滋賀・園城寺 燃燈仏授記浮彫(部分) / 龍谷大学 龍谷ミュージアム
阿弥陀三尊来迎図(部分) / 京都・二尊院 銅千手観音懸仏 / 京都・峯定寺

インドから日本へ

インドで誕生した仏教が日本に至るまでの2500年の歩みを、大きく「アジアの仏教」と「日本の仏教」に分けて通覧します。多様な民族の顔に表現されたほどこたちのすがたや、さまざまな言語に翻訳され、異なる文字で記された經典、地域を超えて共有されてきた物語などは、何より雄弁に仏教を取り巻く世界の広がりや繋がりを伝えてくれることでしょう。

■ 展示構成

第1部 アジアの仏教

インドで仏教が誕生し、アジア全域に広まる

- ・仏教誕生…釈尊（ガウタマ・ブッダ）の生涯とその教え
- ・仏教の広がり…インド、中央アジア、東南アジア、東アジア
- ・多様な仏教…出家修行者と在家信者が織りなす多様な仏教世界



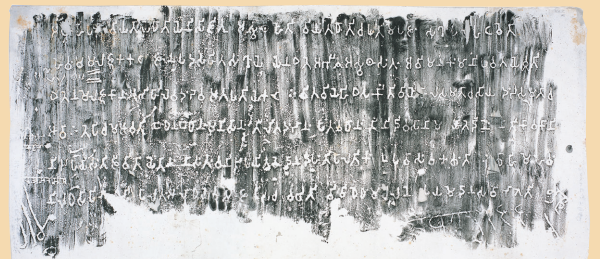
仏坐像 ハッタ
4～5世紀 龍谷大学 龍谷ミュージアム
結跏趺坐する仏陀の姿。衣の襞に赤褐色の彩色が残っている。



仏伝浮彫「托胎靈夢」
スワトまたはディール 1～2世紀
仏母マーヤー。王子懐妊の際に吉兆な白象の夢をみたという。

アショーカ王碑文拓本
石柱法勅第4章
ラウリヤー・ナンダンガリ 前3世紀
龍谷大学図書館

インド随一の英雄アショーカ王が残した碑文の一部。拓本にとったのは大谷探検隊。



第2部 日本の仏教

日本へ仏教が伝来し、日本社会に根付く

- ・仏教伝来…仏教伝来にかかわる史実と伝承上の仏教伝来
- ・国家と仏教…国家政策としての仏教導入と貴族社会への浸透
- ・仏教文化の円熟と日本的展開…日本国内での仏教の歩みの上に新たに醸成され、幅広い階層に受け入れられていった仏教の諸相



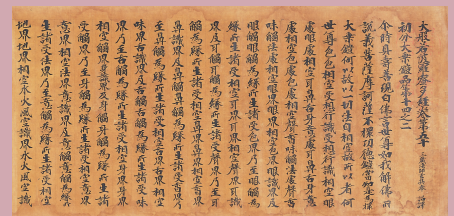
阿弥陀三尊来迎図
室町時代 京都・二尊院
西方の極楽浄土から来臨する姿を描く。たなびく天衣の表現が美しい。



木造 不動明王坐像
平安時代前期 滋賀・園城寺
いわゆる「大師様」の造形。量感溢れる肉体表現が見事な優品。



銅 千手観音懸仏
平安時代後期 京都・峯定寺
峯定寺本尊と同じ千手観音の懸仏。薄い銅板による装飾を多用する。



大般若経 巻第五十 奈良時代 奈良・薬師寺
薬師寺に伝来した『大般若経』の写経。肉太の力強い書体が特徴。

※作品保護のため、平常展会期中に展示替えを行います

入館料

一般	500円 (400円)
シニア・大学生	400円 (300円)
高校生	300円 (200円)

※（ ）内は20名以上の団体料金
※シニアは65歳以上
※中学生以下、障がい者手帳等の交付を受けている方 およびその介護者1名は無料

アクセス ●JR・近鉄・地下鉄烏丸線「京都」駅から徒歩約12分
●地下鉄烏丸線「五条」駅から徒歩約10分
●京都市バス（9・28・75系統）「西本願寺前」下車徒歩約2分



※当館には専用の駐車場はございません。ご来館の際は、バス等の公共交通機関をご利用ください。



龍谷大学

龍谷ミュージアム

RYUKOKU MUSEUM
〒600-8399 京都市下京区堀川通正面下る（西本願寺前）
TEL: 075-351-2500 FAX: 075-351-2577
<http://museum.ryukoku.ac.jp/>